

本編 第Ⅱ部

はじめに

本学は、建学の精神を具現化するため、第Ⅰ期中期目標(2009年度～2013年度)、第Ⅱ期中期目標(2014年度～2017年度)を策定し、2018年度からは第Ⅲ期中期目標(2018年度～2021年度)を設定した。

第Ⅲ期中期目標では、建学の精神である「人類の幸福と恒久的平和の達成」に向けて、第Ⅲ期中期目標の基本方針を quality of life(QOL)の向上と定めた。健やかな社会の構築に向けて、教育・研究・連携をはじめとする諸活動を通じ、QOLの向上に対し積極的に取り組む。そして、教育機関として「人と社会と自然の共生」に向けて、世界で活躍する人材の育成に努めることで、新しい東海ブランドの確立を目指して様々な取り組みを行った。

さらに2022年度からの5年間は、学園マスタープランにおける高等教育部門の中期第Ⅱ期(2022～2026年度)運営方針・事業計画において、14の重点取組項目を定めて活動を行っている。

教育研究年報は、「年度単位で教育・研究等の活動成果を一つにまとめることによって、自らを振り返り、その結果から改善につながる行動を起こすことにつなげる」というPDCAサイクルの機能を担うものである。2021年度には事務系組織の改組が行われ、2022年度には全学的な学部改組とカリキュラム改定が行われた。

組織変更により、教育・研究・社会連携等の諸活動に期待された成果が生じているのかを毎年度の自己点検・評価活動を通じて確認し、課題があれば改善につなげていくことが重要である。

なお今年度の自己点検・評価報告書では、全学的な教学マネジメントの視点から行った自己点検・評価結果を本文にまとめ、学部・研究科については特記すべき点を本文の記述の中で例示する形をとった。